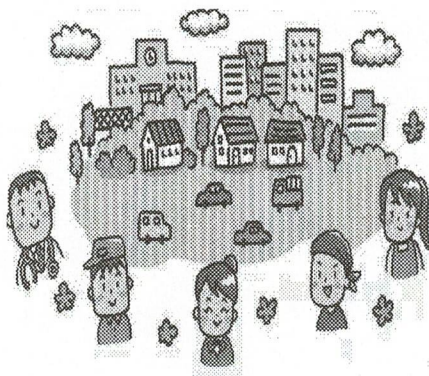


まちづくりの中心地に
にぎわいを!

メイプル取得へ

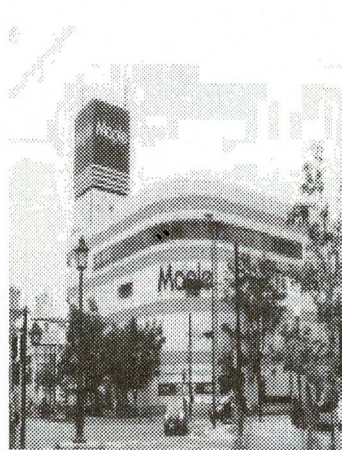


令和5年度一般会計補正予算は、主に「メイプルの土地と建物の購入費用や維持管理費用」などの約3億2938万円が計上されたもので、メイプル取得か否かが大争点となりました。

市は、「産学官連携による課題解決型人材育成プログラムの構築と学びの場の提供」をメイプル活用コンセプトとして提示。高校生や地域の担い手たちなど、未来を担う人材育成の場としての活用を示してきました。

質疑の後、討論が行われ、日本共産党市議団は賛成の立場で討論を行いました。

奥州市議会第2回臨時会が、5月22日(月)に行われました。争点は、令和5年度一般会計補正予算に上程された「メイプル取得に係る予算」の是非についてです。日本共産党市議団は、市の中心部活性化、市民の要求実現のため討論をした内容についてお知らせします。



メイプルを廃墟にすることは到底できない

到底できない

瀬川貞清議員は、初めに「メイプルは、旧水沢市時代に行政主導で強制力を伴う区画整理事業のもと建設されたものであり、最後まで行政が責任を負うべきだ」と主張。「取得後は、町の賑わいを取り戻すために、公共施設を市街地中心部に設置する必要があると考える」と述べました。

また、瀬川議員は「対話した市民の間では、人材育成や若者の起業促進の施設、図書館などの要望もあり、市の計画と一致する方向である。何よりメイプルを廃墟とすることは到底できない」と強調しました。

民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

まちのにぎわい作りへの投資は必要
公共施設の活用、充実を。

千葉敦議員は、「市の中心部にある4階建ての大きな建物が、事実上廃墟になってしまふことは市にとつて、イメージが大きく損なわれるものだ。また、廃墟となれば、市が15億円かけて取り壊さなければならぬ時期が来る」と指摘。

それを踏まえ、千葉議員は「メイプル活用空白期間を短くした上で、しっかりと活用を急ぐことが地下の公共的施設の活用、充実に当然繋がっていく。税金の使い方として、新しいにぎわいを作るための投資という観点も必要ではないか」と主張しました。

反対討論:

十分な議論が尽くされていない

反対討論では、「十分な議論には時間が短すぎる。市民の理解を得てから進めるべきだ」「具体的な活用策が見えていない」「今後多額の維持管理費用がかさみ、財政負担が大きくなるのではないか」という主張がありました。

採決の結果、令和5年度一般会計補正予算は賛成17、反対10の賛成多数で可決されました。下段で賛否についてお知らせします。



賛成

新奥会)
菅野至、小野寺重(以上、奥州みらい)
門脇芳裕、高橋善行、千葉和彦、中西秀俊、藤田慶則(以上、奥和会)加藤清(無所属)
飯坂一也、阿部加代子(以上、公明党)
佐藤美雪、瀬川貞清、千葉敦、菅原明、今野裕文(共産党)

反対

佐々木友美子、千葉康弘、廣野富男、及川佐(以上、奥州みらい)
東隆司、小野寺満、高橋浩(以上、奥和会)
小野優、及川春樹、高橋晋(以上、新奥会)

※議長を除く。

誘い合つて「参加ください」

いのち
くらし
農業
ジェンダー

達増県政を前に!

千田みつ子

大重抵

NO!

日本共産党演説会

6月11日(日)午後2時

Zホール 中ホール

●収録演説 6月24日(木)正午 メイプル前

田村智子